

「バルボネス自治区上水道改善計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「バルボネス自治区上水道改善計画」のための、当館とエル・グアボ市による贈与契約署名式が行なわれました。

エル・オロ県エル・グアボ市バルボネス自治区の、既存の地下貯水槽及び高架タンクは、2002年当時、上下水道を管轄していたバルボネス上水道委員会によって、建設されたもので、エル・グアボ市の上水道網から同施設の地下貯水槽に引き込み、高架タンクにポンプで汲み上げ、給水を行う仕組みになっている。しかし、同施設が所在する土地は、保健省所有の敷地内にあり、診療所施設拡張のため、立ち退きを迫られている。また、同自地区はエル・グアボ市中心部から車で10分程度と近い距離にあり、年々人口が増加しており、既存貯水槽（90m³）及び高架タンク（30m³）では対応しきれないため、より大容量の貯水槽及び高架タンクの設置が求められている。

本計画は、新規の地下貯水槽及び高架タンクを建設することによって、同地域の衛生・生活環境の改善に貢献しようとするものです。

供与額： 8,811,874円

贈与契約締結日： 2014年3月12日

計画実施前



署名式

